

**平成26年度  
県人会担い手育成招へい事業  
報告書**

**期間：平成26年7月11日(金)～22日(火)**

**主催：海外県人会人材育成・活用推進事業  
実行委員会**

## 目次

・ごあいさつ	3
・概要	4
・参加者名簿	5
・全体プログラム日程	7
・プログラム内容	8
・参加者等の感想	12
・事業の総評	13
・参加者レポート／子弟	14
・参加者レポート／引率者	26
・参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	33
・福岡県の海外県人会について	39
・実施要綱	40

# ごあいさつ

平成26年度県人会担い手育成招へい事業には、7カ国12県人会から32名の皆さんが参加されました。

当事業は今年で7年目を迎え、これまでに16県人会から子ども達を福岡へお迎えすることができました。

参加者の皆さんは、太宰府天満宮や小倉城、ヤフオク！ドームなど福岡県の名所を訪ねるとともに梅ヶ枝餅作りや和太鼓、ラーメン作りなど、様々な日本文化を体験しました。

また、那珂小学校では各国の歌や踊りを披露したり、英語交流の授業を受けたり、宗像市の子ども達と一緒にお互いの母国語で挨拶を教え合うゲームをするなどお互いの国の文化や言葉も学ぶことができました。

さらに、親戚宅にホームステイした子ども達は、親戚との交流を深め、自分のルーツについて理解を深めたことでしょう。

世界各地から参加した皆さんが、このプログラムの期間中、共に生活し交流をする中で、共通のルーツである福岡県に愛着を持ち、絆を深められたことは大変素晴らしいことだと思います。また、帰国後はもっと日本語を勉強して、再び福岡県に来たいという声をたくさん聞くことができ、非常に嬉しく思っています。

県人会では、移住から長い年月が経過し、日本語や日本文化を知らない世代が増えています。県人会のさらなる発展、福岡県と各国県人会との交流の促進のためには、次代を担う若い世代の活躍が大変重要となっています。

参加者の皆さんが、本事業で得た経験を大切に、将来母国の県人会で中心的存在となり、日本・福岡県との更なる友好親善、また県人会同士の交流促進のために活躍していただくことを心から期待しております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げるとともにこの事業の今後更なる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成26年11月

海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会

委員長 田中 俊太

((公財)福岡県国際交流センター 専務理事)

# 概要

## 1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

2 期間：平成26年7月11日（金）～22日（火）

3 招へい者人数：7カ国32名【内訳】子弟22名、引率者11名

国名	子弟招へい者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	8	3
ボリビア多民族国	2	1
コロンビア共和国	1	1
メキシコ共和国	2	1
ペルー共和国	2	1
カナダ	1	1
アメリカ合衆国	5	3
合計	21	11

## 4 内容

### (1) 同年代の子どもたちとの交流

那珂小学校、竹下太鼓との交流、宗像市小学生との交流

### (2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察（博多祇園山笠見学、福岡市民防災センター、ヤフオク！ドームツアー）  
日産自動車九州工場見学、北九州市内視察（小倉城庭園見学）、太宰府天満宮見学等

### (3) ルーツを探る

親戚宅、ボランティア宅へのホームステイ

### (4) 日本文化の体験

日本語学習、ラーメン作り、梅ヶ枝餅作り、和太鼓体験

## 5 主催

「海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、  
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、（公財）福岡県国際交流センター

事務局：（公財）福岡県国際交流センター

共催：宗像市

後援：（財）サニックススポーツ振興財団



# 参加者名簿

**【参加者】** 7カ国12県人会から子弟22名、引率者11名が参加しました。

No.	県人会名	引率 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	池田 マテウス 英喜 入沢	男	ブラジル
2			後藤 ナタリア あいこ 土田	女	
3			ソウザ 恒富 マリアーナ 花恵	女	
4			中村 ジョアン ペドロ ゴンザルベス	男	
5			斉藤 エリキ ヒデキ	男	
6			三阪 グスタボ ロドリゲス	男	
7		引率	中尾 白井 明子 マルシア	女	
8			アラカキ ナジア サトミ ナカムラ	女	
9	ベレン福岡県人会	子弟	越知 愛日 イザベラ	女	
10		引率	越知 恭子	女	
11	マナウス福岡県人会	子弟	佐藤 真利菜	女	
12	ペルー福岡クラブ	子弟	本園 ツヨシ	男	ペルー
13			本園 アラセリ	女	
14		引率	西村 山本 ケリー	女	
15	在ボリビア福岡県人会	子弟	米倉 理恵 サブリーナ	女	ボリビア
16			日比野 亜美	女	
17		引率	徳永 亜由美	女	
18	コロンビア福岡県人会	子弟	ロドリゲス バスケス ラウラ ミドリ	女	コロンビア
19		引率	坂本 サリ ユキミ	女	
20	メキシコ福岡県人会	子弟	サンタナ マーティン 仁	男	メキシコ
21			タナカ アキラ	男	
22		引率	谷川 フロレス ホアン カルロス	男	
23	バンクーバー福岡県人会	子弟	片山 フィオナ こはる	女	カナダ
24		引率	片山 七	女	
25	南加福岡県人会	子弟	的野 龍	男	
26		引率	増田 恩	男	
27	サンフランシスコ福岡県人会	子弟	ザーヤス ケネス カイ	男	アメリカ
28			ショルツ ケイネン	男	
29		引率	井上 ダグラス	男	
30	ハワイ福岡県人会	子弟	熊谷 健	男	
31		引率	サリバン 玲子	女	
32	コナ福岡県人会	子弟	マスナガ ジャナ キヨ リリー	女	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	南 美陽 ソフィア	女	ブラジル
2		行徳 さゆり ミリア	女	
3		行徳 政士 ロニー	男	
4		重 エリッキ 和男	男	
5	ペルー福岡クラブ	タケシタ クリスティ	女	ペルー
6	コロンビア福岡県人会	黒木 エルナンデス なつみ バネッサ	女	コロンビア
7	在ボリビア福岡県人会	川波 直美	女	ボリビア
8	メキシコ福岡県人会	棚町 ヘラルド	男	メキシコ
9	アルゼンチン福岡県人会	津留 アナ パウラ	女	アルゼンチン

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

Aグループ	子弟：池田 マテウス 英喜 入沢 後藤 ナタリア あいこ 土田 ソウザ 恒富 マリアーナ 花恵 中村 ジョアン ペドロ ゴンザルベス	引率者：中尾 白井 明子 マルシア 留学生：行徳 さゆり ミリア
Bグループ	子弟：斉藤 エリキ ヒデキ 三阪 グスタボ ロドリゲス 越知 愛日 イザベラ 佐藤 真利菜	引率者：アラカキ ナジア サトミ ナカムラ 越知 恭子 留学生：重 エリッキ 和男
Cグループ	子弟：米倉 理恵 サブリーナ 日比野 亜美 トドリゲス バスカス ララ トリ	引率者：徳永 亜由美 坂本 サリ ユキミ 留学生：川波 直美 エルナンデス 黒木 なつみ バネッサ 津留 アナ パウラ
Dグループ	子弟：本園 ツヨシ 本園 アラセリ サンタナ マーティン 仁 タナカ アキラ	引率者：西村 山本 ケリー 谷川 フロレス ホワン カルロス 留学生：タケシタ クリスティ 棚町 ヘラルド
Eグループ	子弟：片山 フィオナ こはる ザーヤス ケネス カイ ショルツ ケイネン	引率者：片山 七 井上 ダグラス 留学生：行徳 政士 ロニー
Fグループ	子弟：的野 龍 熊谷 健 マスナガ ジャナ キョ リリー	引率者：増田 恩 サリバン 玲子 留学生：南 美陽 ソフィア

## 全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7/11 (金)	終日	入国	グローバルアリーナ
12 (土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	午 後	博多祇園山笠見学	
13 (日)	終 日	宗像市小学生との交流	グローバルアリーナ
14 (月)	午 前	小学校での出し物準備	グローバルアリーナ
	午 後	太宰府天満宮見学	
	夜	歓迎会	
15 (火)	終 日	那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		和太鼓グループとの交流	
16 (水)	午 前	日産自動車九州工場見学	グローバルアリーナ
	午 後	北九州市内見学	
17 (木)	午 前	福岡県副知事表敬	グローバルアリーナ
		福岡県議会議長表敬	
	午 後	福岡市民防災センター	
		ヤフオク!ドーム	
18 (金)	午 前	筑後手作り村	ホームステイ
	午 後	福岡県青少年科学館	
		ホストファミリーとの対面式	
19 (土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
20 (日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
21 (月・祝)	午 後	送別会	グローバルアリーナ
		引率者会議	
22 (火)	終日	出 国	



# プログラム内容

平成26年7月11日（金）～22日（火）

<p>第1日目</p>	<p>11日（金）</p>	<p>◎入国</p> <p>7カ国（ブラジル・ペルー・ボリビア・コロンビア・メキシコ・カナダ・アメリカ）から子弟22名、引率者11名が来福しました！</p>
<p>第2日目</p>	<p>12日（土）</p>	<p>◎午前：オリエンテーション</p> <p>参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中のスケジュールや諸注意を確認して、福岡県や日本のマナーについても一緒に学習しました。みんな、日本語で上手に自己紹介ができました。</p>  <p>◎午後：ゆめタウン博多、博多祇園山笠見学</p> <p>ゆめタウン博多での自由時間のあと、博多祇園山笠「追い山ならし」を見学しました。</p>  <p>ゆめタウン博多 <span style="margin-left: 200px;">追い山ならし見学</span></p>
<p>第3日目</p>	<p>13日（日）</p>	<p>◎終日：宗像市小学生との交流キャンプ</p> <p>グローバルアリーナで、宗像市の小学生と一緒に、竹鉄砲作り、おにぎり作りやそうめん流しなどの日本の伝統的な遊びや食文化を通して交流をしました。宗像市吉武地区コミュニティ運営協議会と正助ふるさと村のスタッフの方々にもご協力をいただきました。午後の「ことば遊びゲーム」では、グループごとに母国語を教えあい、ビンゴゲーム形式で勝敗を競い、国際交流を楽しみました。</p>  <p>竹鉄砲作り <span style="margin-left: 100px;">おにぎり作り</span> <span style="margin-left: 100px;">そうめん流し</span></p> <p>ことば遊びのビンゴゲーム <span style="margin-left: 200px;">宗像市小学生の皆さんと！</span></p>



<p>第4日目</p> <p>14日 (月)</p>	<p><b>◎午前：那珂小学校での交流準備</b></p> <p>7月15日に訪問する那珂小学校で、各県人会の紹介や各国のダンスや楽器演奏を披露するため、みんなで発表準備をしました。</p>    <p><b>◎午後：太宰府天満宮見学</b></p> <p>学問の神様として有名な菅原道真が祀られている太宰府天満宮を、みんなで参拝しました。また、太宰府館では、太宰府を代表する梅ヶ枝餅作りを体験しました。</p>    <p>太宰府天満宮にて 梅ヶ枝餅作り体験</p> <p><b>◎夜：歓迎会</b></p> <p>歓迎会には、福岡県海外移住家族会の大里克夫副会長をはじめ、家族会員の皆さんにもご出席いただきました。</p>    <p>大里副会長 参加者代表挨拶 出席者の皆さんと</p>
<p>第5日目</p> <p>15日 (火)</p>	<p><b>◎終日：那珂小学校との交流</b></p> <p>那珂小学校の小学生の皆さんと七夕飾りを作ったり、英語交流活動や掃除を体験しました。小学2年生と3年生とは給食を一緒に食べました。また、各国、各県人会の紹介や、各国のダンスや楽器演奏を披露し、交流をしました。</p>    <p>各県人会からの発表 英語交流 給食</p> <p><b>◎夕方：茶道体験、フラダンス体験、竹下太鼓グループとの交流</b></p> <p>那珂小学校に隣接している公民館で、茶道体験とフラダンス体験をしました。茶道体験では、先生にお点前を教えていただき参加者も上手にお茶をたてることができました。その後、竹下太鼓グループの皆さんに教えていただきながら、和太鼓演奏を体験しました。</p>    <p>茶道体験 フラダンス体験 和太鼓体験</p>



<p>第6日目</p>	<p>16日 (水)</p>	<p>◎午前：日産自動車九州工場見学</p> <p>日産自動車九州工場で自動車の製造工程を見学しました。</p>    <p>◎午後：北九州見学</p> <p>小倉城日本庭園を見学したり、夜は帆柱ケーブルで皿倉山にのぼり、北九州の夜景を眺めました。</p>   <p>小倉城にて</p> <p>皿倉山にて</p>
<p>第7日目</p>	<p>17日 (木)</p>	<p>◎午前：海老井悦子福岡県副知事表敬訪問、加地邦雄福岡県議会議長表敬訪問</p>    <p>海老井副知事と記念撮影</p> <p>加地議長と記念撮影</p> <p>◎午後：福岡市内見学</p> <p>福岡市民防災センター、ヤフオク！ドームを訪れ見学をしました。</p>    <p>福岡市民防災センター</p> <p>ヤフオク！ドームツアー</p>
<p>第8日目</p>	<p>18日 (金)</p>	<p>◎午前：筑後てづくり村</p> <p>福岡県がラーメン用として品種改良した「ラー麦」を使用しての、ラーメン作り体験をしました。麺を打つところからはじめました。自分達で打った麺を、その場で食べて楽しむことができました。</p>    <p>ラーメン作り体験</p> <p>出来立てのラーメンと一緒に</p>

<p>第8日目</p>	<p>18日 (金)</p>	<p>◎午後：福岡県青少年科学館、ホストファミリー対面式</p> <p>久留米の福岡県青少年科学館では、プラネタリウムを見たり、福岡の先端科学技術を楽しみました。ホストファミリーとの対面式では、初めて会う親戚や、久しぶりの家族と賑やかな再会をはたしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>福岡県青少年科学館にて</span> <span>ホストファミリーとの対面</span> </p>
<p>第9日目</p>	<p>19日 (土)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>
<p>第10日目</p>	<p>20日 (日)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>
<p>第11日目</p>	<p>21日 (月・祝)</p>	<p>◎午後：送別会</p> <p>ホストファミリーの皆さんと参加者がそろい、送別会を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><small>平成26年度 県人会担い手育成招へい事業 送別</small></p>  <p>参加者代表挨拶</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><small>平成26年度 県人会担い手育成招へい事業 送別</small></p>  <p>記念品贈呈</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホストファミリーと一緒に</p> </div> </div>
<p>第12日目</p>	<p>22日 (火)</p>	<p>◎帰国</p> <p>12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。</p>

# 参加者等の感想

## ●子どもたちからの感想

- ・小学校交流では、日本の小学生が学校でどのようなことをするのか知ることができて良かった。お迎いの式のパフォーマンスは特に素晴らしかった。
- ・副知事表敬では、直接副知事に質問ができて良かった。
- ・自分の国に戻ってから、もっと日本や日本文化について知りたいと思うようになった。
- ・ホームステイ先の家族に出会えてよかった。自分が、素晴らしい県の出身者を祖父母に持っていることを誇りに思う。
- ・たくさんの国の友達ができ、それが何よりの財産だと思う。
- ・今まで知らなかった福岡県について、たくさんの事を学ぶことができた。

## ●保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- ・日本文化や言語を習いたいと言っており、将来は日本へ留学し大学で勉強したいとの希望をもつようになった。
- ・内気だった息子が、日本での経験を通し積極的になった。福岡に住みたいと言っている。
- ・他国の友達、県費留学生との出会いがとても良い刺激になったようだった。
- ・日本での経験がどんなに良かったかを、クラスメートにも教えている。このプログラムは、子どもの人生を大きく変えるものだと思う。
- ・福岡の町を見たり、伝統文化にふれたりしたことで、自分のルーツを自覚するようになったようだ。
- ・子ども達の世界観を広げる良い機会だった。自国と日本との違いを改めて確認することができ、またそれぞれの良さも再確認できたようだ。

## ●引率者からの感想

- ・他国からの参加者と交流し、生活を共にする事で気持ちが通じ合えた。引率者、県費留学生の皆がとても仲が良く、将来の県人会活動への繋がりを感じた。
- ・那珂小学校での体験は、帰国後に一番子ども達に影響のあるものだと感じた。
- ・事前に準備がしっかりされていたプログラムの中、沢山の事を体験し、学ぶ事が多かった。
- ・日本人として、子どもたちの日本語・日本文化・慣習などの維持継続を模索することも、今後の私たち福岡県人会の活動内容にするべきなのではないかと感じた。
- ・子どもたちにとって家のルールやマナー、言葉を学べるいい機会になった。日本の生活習慣を身体で感じる事ができた。
- ・訪れたどの場所もどの活動も、日本や福岡の生活や文化を感じることができ、思い出に残る良い経験となった。



# 事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ててもらおうことを目的としている。

今年度は、7カ国12県人会から32名で、これまでに参加のなかったコナ県人会からも参加があった。期間中には、那珂小学校において七夕飾り作りや、各国の歌やダンスの披露など、交流の時間を設けた。5年生と6年生のクラスでは、英語を使っでの交流の時間も取り入れ、お互いの好きなものや出来ることを英語で紹介しあった。また、宗像市小学生との交流では、日本の小学生にも、交流を通して外国の文化や言葉を学び、少しでも海外を感じてもらおうと思い、ゲームを取り入れた。ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語の母国語の異なる子ども達を混合させたグループで、ことば遊びのビンゴゲームをした。お互いの母国語で簡単なあいさつなどを教え合い、県人会の子弟と宗像市の小学生の両方が、外国の文化や言葉を学ぶことができた。



ホームステイに関しては、昨年に引き続き、3泊4日間とした。親戚や知人宅で十分に楽しめる時間を十分に持て、良かったという声が多かった。

引率者会議では、昨年の世界大会を終えてから、県人会活動が、以前にも増して活発になったことや、新たに青年部・OB会が発足したことなど、うれしい報告があった。一方、県人会内での情報共有や運営方法に改善が必要な県人会があることや、今回参加した子どもに関して、日本語能力の低さが目立つとの意見もあった。それぞれの県人会で、率直な意見交換ができたことは、今後の県人会活動において大いに参考になったようである。

本プログラムは、各県人会から福岡県に1年間留学をしている福岡県移住者子弟留学生にとっても、日本の文化や習慣を知る上で有意義なものとなっており、子どもたちのお兄さん、お姉さんとして、身の回りの世話や言葉のサポートをすることで、子どもたちの大きな支えにもなっている。今年は6カ国6県人会から9名の留学生が来ており、参加者をサポートしてくれた。子どもたちにとっても、留学生と触れ合えたことは、貴重な体験で、日本語をもっと勉強して、将来留学生として福岡県に戻りたいという夢を持って帰国した子どもたちも多かった。

本プログラムは、これまでに子弟134名、引率者66名を受け入れてきた。一定の成果は上げているものの、事業に参加できない県人会子弟も多く、また青年世代の県人会活動への参加を促進するための取組が必要である。今年度から本事業以外にも、青年世代の県人会活動への参加を促進するために、本県青年の県人会への派遣や、海外で活躍する福岡県人がセミナーや学校訪問等を行うことにより、県人会とのネットワーク構築を促進する事業を新たに予定している。より一層、本県と県人会とのつながりを強化し、次世代の中核を担う人材の育成につなげていきたい。

# 参加者レポート 子弟

Aグループ		
	ブラジル福岡県人会	池田 マテウス 英喜 入沢 Ikeda Matheus Eiki Irizawa
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>参加できて、とても良かったです。日本文化に触れる事が出来たし、色々な事を覚えました。中でも楽しかったのは、宗像市小学生と竹細工を作ったり、流しそうめんを食べたことです。那珂小学校のお迎の式するとき、生徒の動きがきれいに揃っている事に、とても驚きました。日産自動車九州工場で車の組み立てを見学して、多くのロボットがその作業に使われているのを見ました。面白かったのは、その工場のロボットそれぞれに、アニメのキャラクターの名前がつけられていたことです。他にもとても良かったと思ったのは、防災センターで身の守り方を覚えたことです。初めて野球場にも入りました。その広さに驚きました。最高に面白いなと思ったのは、博多ラーメン作りです。ラーメンの生地を踏んで作りました。今までに食べた中で一番おいしいと思いました。ホームステイ先の金子さんの家族と過ごせたのも、とても良かったです。新幹線にも乗れて、何人もの人と知り合え、美味しいものをどっさり食べました。印象深かったのは、日本人が他の人たちにとってもいねいな対応をすることです。店でも飲食店でも、お客さんは大事にされています。日本文化をもっと知りたい、日本の他のところも知りたいと思っています。素晴らしい県である福岡県出身者の祖父母を持っていることを誇りに思います。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>ブラジルに戻った英喜は、忘れられない人生経験をさせて頂いたと思っています。彼は私達の原点・ルーツを大切にする事を学びました。それから、日本と各国の子ども達と対話することも、彼の世界観を広げたのだと思います。彼は日本の小学生の組織化され、規律正しい点に感銘を受けました。彼らが教室を自分達で掃除する事も素敵だと言っていました。私達の息子に日本文化や生活を体験するチャンスを与えて頂いて、どうもありがとうございました。</p>		
Aグループ		
	ブラジル福岡県人会	後藤 ナタリア あいこ 土田 Gotto Natalia Aiko Tutida
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>参加者の子ども達は、同じ年頃で、ブラジル、カナダ、メキシコ、ハワイ、コロンビア、ペルー、ボリビアから来た子ども達21人でした。</p> <p>始めにグローバルアリーナにいきました。大きくて綺麗なホテルでした。オリエンテーションがありましたが、そのときの日本語の説明は少し理解できました。それから参加者の友達とカルタをして遊びました。久留米の青少年科学館や、福岡市民防災センターで見学もしました。福岡県庁で副知事にもお会いしました。ショッピングモールにも行きました。そこで、アニメのものを買う事ができました。ラーメンも食べました。とても美味しかったです。3人家族のお家でホームステイをしました。とても親切な方々でした。とても思い出に残って、良かったです。ホストファミリーには、動物園にも連れて行ってもらいました。とても楽しかったです。この2週間、日本での滞在は本当に良い思い出になりました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>恥ずかしがり屋で友達と出かける事がなく、自分の意見も言わない子でしたが、日本から帰ってきてからは、とても話すようになり、友達と出かけたがるようにもなりました。日本語学校もやる気が出て、日本語能力試験を受けてもう一度日本に行って、今度は勉強したいとも言うようになりました。ホームステイや食文化など色々な体験ができ、幼いと思っていた娘がこんなにも成長して帰ってきたことをとても嬉しく思っています。ありがとうございました。</p>		



Aグループ



ブラジル福岡県人会

ソウザ 恒富 マリアーナ 花恵  
Souza Tsunetomi Mariana Hanae

「プログラムで得たこと・学んだこと」

皆様、色々とお世話になりました。楽しい日々を過ごせ、心から感謝しています。福岡に行く前は、少し落ち着きませんでした。言葉が不自由、違う食べ物、他の子どもと仲良くなれないかもと不安でした。でも、日本についたらいっぱいの人たちが歓迎してくれてすごく嬉しかったです。プログラムの全てが初めての体験でした。そうめん流しは、箸でつるつる流れていくそうめんをつかむのが、とても難しかったです。那珂小学校で一番記憶に残っているのは、学校が整理整頓されていて清潔だったことです。全て子ども達がやる事に感心しました。大勢の子ども達が綺麗に踊った事も印象的でした。博多祇園山笠の男性の衣装は面白かったけど、少し気持ちが悪かったです。北九州の小倉城はすごかったです。昔のままの姿がとても印象的でした。皿倉山も気持ち良く、見晴らしもすごかったです。一番緊張したのは、副知事とお会した時です。言葉も話せない私が何を言えば良いか分かりませんでした。心臓がドキドキしました。最後に博多ラーメンを作る体験がすごく面白かったです。自分で作ったラーメンはとても美味しかったです。全ての体験が良い思い出になりました。日本は貧しい生活をしている人がいないみたいです。ブラジルでは貧しい生活をしている人が多いです。日本で色々な所を見ましたが、全ての所が綺麗でした。ホームステイでは、おじいちゃんの親戚がとても優しく歓迎してくれました。しばらくブラジルのものを食べていないと思ったみたいで、バーベキューをご馳走してくれました。お肉をたっぷり食べました。福岡県や県人会の皆様、このチャンスを与えて下さり、心から感謝しています。ありがとうございます。

～親御さんからのメッセージ～

皆様、娘の花恵にこのような機会を与えて頂き、本当に心から感謝の気持ちでいっぱいです。花恵は明るい性格の子で、どこに行ってもいつもニコニコしています。日本での経験は一生忘れる事はないでしょう。言葉に不自由したようですが、何とかこなせて、英語やスペイン語も使って、会話だけは出来たようです。今度は、留学生として、また日本に行きたいと言っています。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

中村 ジョアン ペドロ ゴンザルベス  
Nakamura João Pedro Gonçalves

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、今回の事業で学んだ事がたくさんあります。日本は生活するためにはどの国にも負けないくらい良い所だと思います。日本の文化や、人を尊敬することは、世界中でも珍しいです。この習慣は、学校教育からくるものだと思います。子ども達が学校の色々な活動を自分達でします。教室の掃除や給食の準備です。そして日本は強盗も少ないです。信頼感がわきます。自然も綺麗です。路上でゴミを見ませんでした。文化は本当に素敵でした。博多祇園山笠をはじめとする、たくさんのお祭りでは、人々の度胸とエネルギーを感じました。仏教文化も素晴らしいです。神社などはよく保存されていました。プログラムで一番良かったのは、ホームステイでした。今まで会ったことのない親戚と会う事ができました。短い間でしたが、自分の家のように感じました。

～親御さんからのメッセージ～



一番の変化は、今まで以上に色々な事に強い好奇心や興味を持つようになったことです。私達は、戻ってきてから、日本文化や教育システム、子どもの育て方をいつも一緒に話しています。本人が日本へ行った事で、日本にいる親戚ともさらに繋がる事ができ、今回の事業は、良い橋渡しになりました。日本文化や言語をもっと習いたいと言っており、将来は日本へ戻って大学に行きたいとの希望もあるようです。

この経験は、本当に価値のあるものでした。他人に対する敬意、集団行動の大切さ、日本の環境の良さについて、宗教の事など大切な事をたくさん学んできました。

私達はブラジルから皆様に、たくさんのお礼を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

Bグループ		
	ブラジル福岡県人会	斉藤 エリキ ヒデキ <b>Saito Eriki Hideki</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>県人会や引率者、たくさんの皆さんのおかげで日本に行く事ができて良かったです。那珂小学校では小学生の一日の活動、ホームステイでは日本の日常生活の体験、ショッピング、神社、野球場、自動車工場、福岡県庁に行くことが出来て、とても良い勉強になりました。学校で特に感心したのは、小学生のお迎えの式と、給食の準備や後片付け、家と同じように靴をスリッパに履き替えることでした。どこの食事もおいしくて、お店には珍しいものがたくさんありました。今回は、両親が一緒ではなかったので、お金や自己管理など、全てに責任を持って行動するようになりました。自由なかわりに、物事を選択することの難しさや大切さを覚えました。ありがとうございました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>プログラム参加後の息子は、日常生活の中で、以前より責任を持って行動をするようになったと思います。例えば、学校の宿題、友達とグループで勉強をする、試験を受ける、時間を厳守する、身の回りの整理など。那珂小学校では、学生たちの礼儀正しさ、まとまった団体活動などが特に感心したと言っていました。日本語にも感心を示すようになり、もっと勉強して日本に行きたいと言っています。今回ホームステイ先の家族の方達と上手く会話ができなかった事を残念がっていました。以前より人に対しての心遣い、尊敬、礼儀、時間厳守、価値観、誠実さなどに意識しているように見えます。その行動は無意識のうちに、妹達にも伝わっているようです。</p>		
Bグループ		
	ブラジル福岡県人会	三阪 グスタボ ロドリゲス <b>Missaka Gustavo Rodrigues</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>福岡に着いてすぐに、グローバルアリーナに行きました。そこで男子と女子の部屋に分けられ、すぐにサッカーしました。次の日は、プレゼンテーションの練習をしました。今回、竹細工作りやラーメン作り、流しそうめんなどをしましたが、どれも楽しかったです。神社にも行って、梅ヶ枝餅作りもしました。面白かったです。神社はきれいな建物で、ブラジルの教会とは全く違うものでした。那珂小学校にも行きました。太鼓、茶道、フラダンスなど色々な活動がありました。僕たちはブラジルのダンスのひとつ、フレヴォを踊りました。学校はすごく綺麗で、驚いたのは生徒が掃除を自分達でしていることでした。ブラジルでは生徒は、掃除をしません。日本のその習慣はとてもいいことだと思いました。日産自動車工場で車の組み立てを見たのも、すごく楽しかったです。小倉城はとてもきれいな建造物でしたが、入れなかったのが残念です。副知事と会ったこともとても良かったです。福岡県庁はきれいで厳かな雰囲気でした。</p>		
<p>ホームステイもとても良かったです。レストランやサッカー場にも連れて行ってもらいました。祖父はとても親切にしてくれて、僕はまるで自分の家にいるような気になりました。家は大きくて、車が2台あって、祖父はいつもニコニコしていました。野球場にも行きました。いつか、勉強をしに、日本に戻りたいと思っています。</p> <p>国際交流センターの皆さん、日本文化を知るためのチャンスを与えて下さって、本当にありがとうございました。日本に行って、僕は時間厳守や衛生や教育の大事さに気がつきました。そして素晴らしい国民性と美味しい食べ物、素晴らしい建物を持つ国というイメージを持って、ブラジルに帰ってきました。何もかもが素晴らしい国！そして、日本のファミリーを知ったこともとても良かったです。</p> <p>皆さん、心からもう一度、ありがとうございました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>今回のプログラムに息子を参加させて頂き、ありがとうございました。息子は日本へ行き、日本に住んでいる親戚とも再会することができました。日本の美味しい食べ物をはじめ、仏教文化など、日本が大好きになって帰ってきました。将来は、勉強をしに日本に戻りたいとの希望ももっているようです。色々な国から来た子ども達との出会いも、本人にとっては新鮮だったようで、一生の思い出になったようです。本当にありがとうございました。</p>		



Bグループ		
	<p>ベレン福岡県人会</p>	<p>越知 愛日 イザベアラ Oti Ayaka Isabella</p>
<p>「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>私は今回初めて日本へ行き、福岡の町を見ることが出来ました。福岡県は、ひいおじいさんが生まれた町ですから、とても興味がありました。福岡はとても大きな町で、たくさん工場があるのが分かりました。今回の研修で印象に残っているのは日産自動車工場です。ロボットが自動車を作っているのに驚きました。那珂小学校で同じ位の年齢の生徒達が、とても上手に和太鼓をたたいていたのも素敵でした。市民防災センターでは、ブラジルでは経験できない地震や台風の体験できた事も良かったです。もうひとつは、とんこつラーメンを作って食べたことです。ラーメンはとてもおいしかったです。また食べたいです。</p> <p>今回、日本の国や日本の生活を見て、色々なことを知ることができました。私は将来医者になりたいと思っています。大学を卒業したら、もう一度福岡へ行って、医者の勉強をしたいと思っています。そして、福岡とブラジルのために何かできることがあれば役に立ちたいと思います。</p> <p>この研修の機会を与えて下さった福岡県、福岡県人会の方々、また、私達のお世話をして下さった国際交流センターの皆様や福岡県家族会の皆様、引率者、県費留学生の方々に心からお礼申し上げます。</p>		
<p>～親御さんからのメッセージ～</p> <p>娘を本事業に参加させて頂く機会を与えて下さいました事に、心から感謝申し上げます。娘はこの研修に参加し、独立心や責任感ももてるようになり、ひと回りもふた回りも大きく成長して帰って参りました。また、初めて見る日本という国が大好きになり、とても喜んで帰って参りました。福岡の町を見たり、福岡の伝統文化にふれた事で、自分のルーツを自覚するようになりました。他の国々の子どもさん達と知り合い、違った文化を持ついろいろな国を知り、友達になれたことをとても喜んでおります。</p> <p>娘は将来医者になりたいと言っております。大学を卒業したら、是非、もう一度福岡に戻って勉強させて頂きたいと思っています。末筆になりましたが、素晴らしい事業を企画して下さいました福岡県知事様を始め、福岡県議会の方々並びに国際交流センターの皆様方に心から厚くお礼を申し上げます。</p>		
Bグループ		
	<p>マナウス福岡県人会</p>	<p>佐藤 真利菜 Sato Marina</p>
<p>「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>日本に行くチャンスをいただいてとてもありがたく思っています。行く前までは、とても不安でたまりませんでした。生まれてはじめての一人旅だったからです。「どんな人達に出会えるのだろう」とか、「どんな所なのだろう」とか、色々想像をしていました。実際に行ってみると、安心しました。そして何よりも毎日がとても楽しかったです。皆はとても優しく、たくさんのお友達もできました。色々な所に見学にも行きました。例えば、日産自動車工場で車の組み立てかたを見たり、ヤフオク！ドームで誰もが入れない選手達のロッカールームに入れた事や、ラーメン作り、太鼓の練習に参加できたこと、色々素敵なお出掛けや勉強ができ、とても貴重な体験をさせていただき、とても感謝しています。そして一番楽しかったのは、那珂小学校に行き色々な事をして、皆さんとふれあえた事です。私はマナウス日本人学校の文化コースに通っていますが、日本の小学校に行けてとても嬉しかったです。そして生徒数の多さにびっくりしました。私の学校には35人しかいないからです。祖父が生まれた福岡県も、とてもきれいで、歴史のある素敵な町だと思いました。またいつか留学生として行きたいとの夢もできました。この機会をあたえてくださった福岡県人会や、お世話になった皆様にとっても感謝しています。ありがとうございました。</p>		
<p>～親御さんからのメッセージ～</p> <p>娘をこのプログラムに参加させて頂いたことを、とても有難く思っています。娘はマナウスで、日本人学校の文化コースに通っており、今回のチャンスで日本に行くことが出来て、小学生や、日本の文化などに間近でふれ合い、いろいろな事に興味をもって帰りました。このチャンスをあたえてくださった福岡県人会の皆様、お世話になった多くの関係者の皆様本当に心から感謝申し上げます。将来はブラジルと日本のかけ橋になるような活動をしてもらいたいと思います。本当にありがとうございました。</p>		

Cグループ



在ボリビア福岡県人会

米倉 理恵 サブリーナ  
Yonekura Rie Sabrina

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、今回の事業に参加できて良かったです。私のような日系人が世界の色々な国にいて、お友達になることができました。そして日本の小学生や親戚と会えてうれしかったです。私は日本語が話すことができたので、日本のお友達とコミュニケーションがとれたのも、とても嬉しかったです。日本の人達とたくさんお話しができて、色々なお話がわかり、面白かったです。他の国からの参加者の人は、英語ができる人が多いです。私もこれから英語を勉強して、みんなと話せるように頑張りたいとも思いました。そして、また日本の事を勉強するために、日本に行きたいです。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

初めて娘を旅に出す私達は、心配ばかりでしたが、娘にとって夢のような旅だったと思います。今回の事業に参加した娘を通して、家族みんなが福岡県、そして日本という国、それから親戚の方々に近づく事が出来たと思います。また日本の小学校、日産自動車九州工場やお祭りなどを見学し、体験し、新しい友達と交流して意見交換したりして、自分が外国生まれの日系人であるが、日本にもうひとつの故郷があることを確認するとともに、日系人であることに喜びと自信を感じさせてくれたようです。日本の文化、習慣、料理、言葉についてももっと興味がわいたようです。これを機会に、もっと色々なことを勉強して、自分の夢と希望を大きく持って欲しいと思っています。

Cグループ



在ボリビア福岡県人会

日比野 亜美  
Hibino Ami

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、このプログラムに参加できてとても嬉しかったです。ボリビアではできない地震体験、流しそうめん、神社に行っておみくじを引いたり、茶道などの初めての体験をたくさん出来て良かったです。また、博多祇園山笠祭りを見た時は、ふんどしをした男の人たちがおみこしをかついでいたので、すごくびっくりしました。ホストファミリーの方たちには、ボリビアでは見られない海を見せてくれて、とても嬉しかったです。

国際交流センターのみなさんはじめ、今回お世話をして下さった皆さんには、本当にお世話になり、感謝しています。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

娘がここのプログラムに参加する事ができて、とても感謝しています。初めて親元をはなれることで、不安もありましたが、色々な体験ができ、日本の習慣を学ぶ事ができて、日本をもっと知りたいという気持ちが芽生えたようです。短期間ではありましたが、沢山の出会いと、沢山の友達ができ楽しい時間を過ごすことができ、良い思い出になったと喜んでます。

国際交流センターをはじめ、お世話になった皆様、ありがとうございました。



Cグループ		
	<p>コロンビア福岡県人会</p>	<p>ロドリゲス バスケス ラウラ ミドリ Rodriguez Vasquez Laura Midori</p>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>この12日間のプログラムで、色々なところに行きました。福岡市内の見学や、太宰府天満宮、北九州では日産自動車工場にも行きました。食事もとても良かったです。また私は今回、日本の文化や習慣を知る事が出来ました。博多祇園山笠や、ホームステイでホストファミリーの方と一緒に生活する経験を通してです。他の国から来た県人会の子ども達(ブラジル、ベレン、マナウス、ボリビア、メキシコ、ペルー、バンクーバー、ハワイ、コナ、サンフランシスコ、ロサンゼルス)とも友達になり、彼らの国の事も、少しは理解できるようになりました。私達の先祖達がどれだけ偉大だったかや、私の今回の福岡での体験を、県人会のみんなに話して分かち合いたいと思います。 お世話をしてくれた皆さん、ありがとうございました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>娘は、今回の事業で独立心を学んだように思います。そして、日本食が好きになりました。日本に住む家族にも会う事が出来て、本当に良かったと思います。また、他国の子ども達と知り合い、その国の文化など色々な事を知る事ができたようです。娘は、太宰府天満宮でお参りができた事が大変うれしかったようです。 娘のお世話をしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。</p>		
Dグループ		
	<p>ペルー福岡クラブ</p>	<p>本園 ツヨシ Motosono Tsuyoshi</p>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>福岡でラーメン作りや梅々枝餅を作り、とても楽しかったです。日本語で新しい言葉も習いました。宗像市の小学生との交流のときには、県人会を代表して、みんなの前であいさつをしました。4日間のホームステイもたのしかったです。今回のプログラムに参加して、友達もたくさんできました。ブラジル、メキシコ、コロンビア、ボリビア、カナダ、アメリカの友達ができました。とてもうれしいです。 福岡国際交流センターのみなさん、福岡県のみなさん、お世話してくださったみなさん、どうもありがとうございました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>福岡から帰国したツヨシは兄弟と前より仲良くしています。家の中でも、以前より積極的に手伝いをするようになりました。そして、福岡県の事がとても好きになって帰ってきました。また福岡県に行きたいとも言っています。そして、ホームステイ先がとくに心に残ったようです。ホームステイ先で出会ったお母さんに、とても会いたがっています。ホストファミリーのお母さんは、ツヨシが帰国して一人になったので寂しくないかと心配までしています。 ありがとうございました。</p>		



Dグループ		
	ペルー福岡クラブ	本園 アラセリ <b>Motosono Araceli</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>このプログラムのおかげで、福岡県には歴史や伝統があって、世界で福岡にしかない祭りなどを見ることができて、すばらしいところだということを知ることができました。特別な日に着る着物や、浴衣を見ることができました。茶道や、学校での太鼓のプレゼンテーション、大宰府天満宮や福岡県庁、日産自動車の工場やヤフオク！ドーム、色々な所の見学ができました。福岡の食べ物もとてもおいしかったです。ラーメンも作ったし、デパートにも入ることができました。本当に楽しかったです。日本は昔のものを大切にしながら、新しい物を上手に取り入れる素敵な国だと思います。家や学校の玄関で靴を脱がなければならないことを教えてもらいました。スリッパは家の中で使うスリッパと、トイレ用のスリッパがあることも初めて知りました。また、ごはんを食べる前と食べた後の「いただきます」と「ごちそうさま」、お箸をごはんに刺してはいけないことや、病気の際は、周りの人に迷惑をかけないためにマスクをつけることもとてもいい習慣だと思います。</p> <p>初めて両親と離れて一人で福岡に来て、自分のことは自分でし、日本語に興味を持ち、今でも連絡を取っている新しい友達もいっぱいいます。福岡の文化や伝統を知り、もう一度福岡に行きたいという気持ちで帰国しました。このように素晴らしい機会を与えてくれて、どうもありがとうございました！！</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>プログラムを終えて帰って来たアラセリは、以前より自分から話を始めるようになり、日本文化や日本語への関心を持つようになりました。空港で帰国したアラセリを強く抱きしめたとき、アラセリはとてうれしそうでしたが、駐車場に向かっているとき、泣きはじめました。長い間会ってなくて寂しかったんだねと思っていたのですが、実は福岡で作った新しい友達ともう会えないって思ったから泣いていたそうです。娘に素晴らしい経験を与えていただいて、どうもありがとうございました。</p>		
Dグループ		
	メキシコ福岡県人会	サンタナ マーティン 仁 <b>Santana Martin Hitoshi</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>福岡県の皆さんが僕を受け入れてくれて、ひいおじいちゃんの生まれた国へ行く事が出来ました。とても素晴らしい旅でした。福岡に行ったことで、福岡にはどのような文化や祭りがあるのか、家はどのようなものがあるのか、そして家に入る前に靴を脱ぐ習慣や、学校でも靴を脱ぐ事を知りました。文化、習慣や料理などたくさんの事を学びました。昔からお箸を使うのは苦手だったけれど、お箸で食べる事もできるようになりました。梅ヶ枝餅とラーメン作りも学びました。グローバルアリーナでは、初めて野球をして遊びました。ホストファミリーとの交流もとても楽しかったです。ホストファミリーの子ども達の一京太君と浩太君とそのご両親と色々ゲームをして遊びました。日本の子ども達は、自分の両親が言う事をとても真面目に聞いていて、敬意を示していたのでびっくりしました。</p> <p>今回、参加者のみんなと100%までは会話が出来なかったけれど、70%は出来たと思います。とても楽しい経験でしたので、また福岡に戻りたいと思っています。それには、もっと日本語も勉強をしなければならぬと強く思うようになりました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>息子は日本から帰ってきて、かなり変わりました。前はシャイで黙っている方でしたが、今は以前より生き生きとしています。そして、メキシコでの日常生活に関しても、全ての物は違う観点から見る事ができるという事を知るようになり、とても嬉しそうです。福岡に住みたいとも言っています。今回のプログラムは、彼の人生を良い方向に変えてくれたと思います。この最高のチャンスと、この素晴らしいプログラムに参加させて頂き、関係者の皆様にご心からお礼申し上げます。</p>		

Dグループ



メキシコ福岡県人会

タナカ アキラ  
Tanaka Akira

「プログラムで得たこと・学んだこと」

那珂学校での交流や、宗像市の同級生達との交流を通して、自分の行動に責任をもって活動をしなればいけない事を学びました。僕達の叔父のルーツである福岡県はとても良いところで、面白いと感じることが多くあり、そして大切な事もたくさん学びました。例えば、相手への礼儀やきちんと時間を守るといったことです。今回学んだことを忘れないように、僕のおにいちゃんやおねえちゃん、僕の家族と接するときにも、このようなことを活かしていきたいと思います。

今回のプログラムに参加したことで、僕は日系人として誇りをもつことができました。お世話になったみなさん、ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子はとても変わりました。以前から責任感はありませんでしたが、今回のプログラムに参加した事でより一層責任感が強くなった気がします。同じ歳の子供達に対して、もっと忍耐強くなりました。以前から日本語の勉強をしていましたが、帰ってきてから、もっと勉強しようとしています。そして、彼はもっと自立しようとしていますし、それが自分の自信にもつながっているようです。自分をもっと大事にするようにもなりました。色々とお世話になりました。

Eグループ



バンクーバー福岡県人会

片山 フィオナ こはる  
Katayama Fionna Koharu

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、このプログラムに参加してたくさんのお話を学んで、たくさん楽しい思い出を作ることができました。

まず、他の国から来た参加者の人達が日本語を話そうと頑張っていたのに驚きました。

次に、那珂小学校では、みんなが机や椅子を下げてそうじすることを学びました。そして、小学校の先生やみんなが、私が日本語をよく話すのに驚いていた事にびっくりしました。そのほかでは、山笠で男の人達がお尻をだして、大きな山笠をかついで走っていたことや、太宰府に行ったときには日本にはたくさんルールがあることを学びました。日産自動車九州工場では、ロボットが働いていたり、ヤフオク!ドームがものすごく大きかった事、地震や台風の体験ができた事は、すごく勉強になりました。そして、このプログラムの中でとても楽しかったことは、那珂小学校に行った事です。色々な事をして、友だちを作ったことはいい思い出です。太鼓の練習で竹下太鼓の子供達もプロのように上手だったのには驚きました。

このプログラムに参加して、留学生のお兄さんお姉さんや他の国の友達と仲良くなって色々なところに行けたのはとても楽しかったです。次は大きくなって留学生として日本に行きたいとおもいます。

さいごに、お世話をしてくれた国際交流センターをはじめとするみなさん、ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～


今回は2回目ということもあり、前回のプログラム内容を意識しながら、経験者という立場から出来るだけスタッフの方々のお役に立てるようにとの思いを持って参加させて頂きました。

私たちバンクーバー福岡県人会はまだ若く、会長や役員も日系一世から成り立っているため、まだまだ日本の心や文化はそのままに在る県人会です。これが今後日系二世、三世が担っていくようになると、本当の日本の文化や習慣を忘れる危険も生まれるかもしれません。そうさせないためにはやはり今在籍する私たちが、故郷を大切にしたい、繋がっていたいという思いを伝えて大切に育てていくことが大事なのだと感じます。

最後に、今回本事業参加に際してお世話になりました国際交流センターの方々、福岡県庁の方々にも心よりお礼を申し上げます。どうも有り難うございました。



Eグループ		
	サンフランシスコ福岡県人会	ザーヤス ケネス カイ <b>Zayas Kenneth Kai</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>僕はこのプログラムに参加して、日本の文化や習慣を実際に見て学ぶ事ができました。お城や太宰府天満宮などを訪れたことで、日本人の宗教的な部分を学ぶこともできました。博多祇園山笠はとても迫力があって、見ていてとても楽しかったです。梅ヶ枝餅の歴史を学んで、実際に作ったことはとても興味深く楽しかったです。プログラム参加者と一緒に大好きなラーメンを麺から作ったり、初めてそうめん流しをしたこともとても楽しかったです。那珂小学校でたくさんの友達に出会ったことや、彼らの太鼓や旗のパフォーマンスはとても素晴らしく、忘れることの出来ない思い出になりました。</p> <p>このプログラムで出会った世界各国から来た人達とこれからも連絡をとって、また将来福岡で会うことを楽しみにしています。これからは福岡県人会のイベントなどで1人でも多くの人達にこのプログラムで学んだことや素晴らしさを伝えていきたいと思っています。</p> <p>この素晴らしいプログラムに参加できたことに、とても感謝しています。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>ケネスはこのプログラムに参加し、日本文化の素晴らしさ、日本食の歴史や作り方を学び、大変貴重な経験をさせて頂きました。プログラム参加後、日本語や日本食にも更に興味を示すようになり、同時に自分が日本人であることをとても誇りに思っています。世界各国から集まった福岡にゆかりのある同世代の子供達や引率者、県費留学生の方々に会い、共に生活する中で、たくさんの考え方やお互いの文化の違いを学び一段と成長して帰ってきました。</p> <p>このような素晴らしいプログラムに参加させて頂いた事、福岡県人会をはじめ福岡県や国際交流センターの関係者の皆様のご尽力、ご協力には心から感謝致しております。</p>		
Eグループ		
	サンフランシスコ福岡県人会	ショルツ ケイネン <b>Schldt Kaynen</b>
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>今回の家族なしでの日本への旅行は、僕に責任感をもたせてくれました。福岡に到着して、世界中の様々な県人会から来た多くの新しい友達に会いました。このプログラムの間、僕は日本文化や日本人としての正しい礼儀について色々詳しく学びました。日本語での会話も学びました。ラーメン作りも体験しました。那珂小学校に行くと、素晴らしいお迎えのパフォーマンスを見たり、彼らの教室に行ったときには、日本人の小学生が自分達で教室の掃除をしたり、給食の準備をしたりするのは驚きました。僕はアメリカでの遊びを彼らに披露する事ができて良かったです。日本で友達になった人や、思い出をふりかえると、とても寂しくなります。</p> <p>このような機会を与えてくれて、本当に感謝しています。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>旅行の前に息子は、家族なしで日本へ行く事をとても心配していました。息子はとても個性が強い子ですので、息子には、もし日本で緊張したとしても自然にふるまうようにと教えていました。私は、息子が日本から戻ったとき、自分の友達に日本での経験を話すためにとても興奮していることに気がきました。友達に日本語を教えようともしていました。息子は、今回のプログラムについて、とてもよく話をします。今回できた友達とまた日本に戻りたいとも言っています。</p> <p>このような素晴らしい機会を与えて下さり、本当に感謝しています。彼はクラスメートやクラブ活動の友達に、今回のプログラムを薦めています。大学生になったら、日本で勉強をしたいとも思っているようです。今回の事業が、息子の人生を大きく変えてくれたと信じています。</p>		

Fグループ		
	南加福岡県人会	的野 龍 Matono Ryu
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>このプログラムは、僕に多くのものを教えてくれました。そして、本当に楽しい時間でした。日本は、とても刺激的でした。ゆめタウンの中のアーケード街を見るのが、とても楽しかったです。アメリカでは、こんなにたくさんの種類のお店が入ったアーケード街を見たことがありませんでした。博多祇園山笠では、参加している人々が山笠をかついでいるのを見る事ができました。梅ヶ枝餅作りも楽しかったです。那珂小學校で、日本の小学生と1日一緒に過ごせたのも、とても楽しかったです。また、僕はアメリカでお城を見ることがないので、小倉城庭園は面白かったです。皿倉山のケーブルカーは、素晴らしい眺めでかっこ良かったです。僕が住んでいる所には、このようなケーブルカーがありません。防災センターでは、災害が起きた時に、どのように感じるか知ることができて刺激的でした。</p> <p>日本はとても刺激的で、楽しくて面白かったです。日本独特の文化や伝統を経験し、とても興味を持ちました。初めて食べる和食にも、わくわくしました。アメリカで美味しい和食を食べれるのは、高級レストランだけです。また、日本の地理と気候にも興味を持ちました。毎日、景色を見るため窓の外を見るたびに、その美しさに驚きました。このような、とても美しい国日本は、僕に向上心を持たせてくれました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>私、長男に続き次男もこのプログラムに参加させて頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>親元を離れるのは今回のプログラムが初めてで、少々心配はしていましたが私が生まれ育った福岡を知る事が出来た良い機会でした。福岡に対する気持ちは以前とは違って、自分のルーツとして福岡を知り感じる事が出来るようになったのではないのでしょうか。11歳という年齢では、自分のルーツを知り、考えるというのは難しいと同時に、あまり気にならない事かも知れませんが、いつかそれを大事に思う日が来ると信じております。県人会を通じて自分自身で福岡について学び、自分も福岡の人間だと自信を持って言える大人になって欲しいと思います。</p>		
Fグループ		
	ハワイ福岡県人会	熊谷 健 Kumagai Ken
<p style="text-align: center;">「プログラムで得たこと・学んだこと」</p> <p>このプログラムで、福岡県についてたくさんの事を学び、今までとは違う新しい考えも持つようになりました。今でも、各国からのたくさんの友達が出来た事が信じられません。そして両親なしでも、やっていける自信も持つ事ができました。福岡だけにしかない美しさや調和を経験する事ができました。このような機会を与えてくれた皆さんに心から感謝します。決して忘れません。そして、たくさんの人に今回のプログラムがどんなに素敵だったかを伝えていきたいと思います。</p> <p>福岡県は日本の中でも大きなところだと学びました。トイレの形式がハワイと違うところもありました。僕たちを福岡県に呼んでくださり、伝統的な食べ物や滞在を可能にして下さった副知事さんや県議会の皆さんにお会いできたのも光栄でした。日本で暮らすにはどうしたら良いのかや、毎日の生活の大変さや、働くことの大変さを学びました。この事業は僕に日本人だという誇りをもたせてくれました。</p>		
<p style="text-align: center;">～親御さんからのメッセージ～</p> <p>このような素晴らしいプログラムに息子を参加させて頂き、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。彼にとって、この上もなく楽しく心に残る旅だったようです。色々な事を自分でしなければいけない事も一つの挑戦でした。一番心に残ったのは、同じ福岡県にルーツを持つ世界の仲間との出会ったようです。言葉も考え方も食べ物も習慣も違う同じ年の子ども達とお互いに心が通い合い、わからない言葉で語り合い、同じ時間を共有できた事は最高の楽しさだったようです。山笠など福岡の文化に触れられた事は、異文化の中で育つ同年代の子ども達にとって、それぞれが福岡県を身近に感じる経験になったと思います。自宅では息子と日本語で会話をしていますが、彼には分からない日本語ばかりです。このプログラムをきっかけに日本語にもさらに興味が出て、日本語の本も読んでみようとしています。彼が日本人の血をもって生まれたことを誇りに思ってくれればと思います。今回出会った子ども達と将来も友人でいてくれたらと願います。色々な皆様にご迷惑をおかけした事と思いますが、一回り大きくなって帰ってきたように思います。本当にありがとうございました。</p>		



Fグループ



コナ福岡県人会

マスナガ ジャナ キヨ リリー  
Masunaga Jana Kiyoko Lily

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、今回のプログラムに参加したことによって、たくさんの日本文化や、手芸工作、そして礼儀を学びました。また日本語や、日本の文化に関する知識を高めることができました。博多祇園山笠の男の人の衣装には驚きましたが、みんなが力を合わせて一生懸命頑張っている姿をみて感動しました。太宰府天満宮で、お祈りのときにお賽銭を投げるのも面白かったです。梅が枝餅作りも良い思い出です。那珂小学校での活動では、日本の子ども達がどのような生活をしているか知ることができ、一日彼らと一緒に活動するのはとても楽しかったです。楽しいところにもたくさん連れていってもらい、美味しいものもたくさん食べました。本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

娘のジャナは、日本のことが大好きで、福岡からそして新しくできた友達から離れることを悲しがりました。我が家は8月に、静岡から2人の生徒さんを迎えました。その際、娘は日本語で会話することができました。また、自分で浴衣を縫い、日本の踊りを好んで踊っています。娘は福岡から帰ってきて以来、更に礼儀正しくなったようです。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

# 参加者レポート 引率者

### Aグループ

	<b>ブラジル福岡県人会</b>
	<b>中尾 臼井 明子 マルシア</b> <b>Nakao Ussui Akiko Marcia</b>

この度は県人会担い手育成招へい事業の一環として、福岡県にお招き頂いたことに心から感謝いたします。福岡の皆様への心こもったおもてなし、親切なお言葉が心にしみ、毎日のスケジュールはあつとゆう間に過ぎていきました。日本のライフスタイルに根付いた“感謝”と“人を敬う気持ち”は日本が世界から愛される国の理由だと、今回の来福で改めて思いました。また、日本の中でも福岡県は特に魅力的な場所です。私自身、県費留学生制度を活用させて頂いた事、わが子にも福岡で幼稚園体験や、サンパウロ日本人学校と東京の大学に通わせて頂いている事を心から感謝いたします。去年、娘のタミが県人会担い手育成招へい事業でお世話になりました。福岡での経験で、彼女の性格は積極的になりました。大変喜んでます。更に今回は、引率者としてお招き頂き、日本に家族がいることを改めて実感いたしました。世界にいる福岡県の人々は、故郷を思い、故郷の風習を引き継ぎながら、日々を過ごしています。

福岡県庁の皆様、国際交流センターの皆様、家族会の皆様、那珂小学校の皆様、宗像市での交流でお世話になった皆様、県人会の皆様、参加された引率者と子弟の皆様、すべての方々に感謝の気持ちを捧げ、今回の事業で培ったネットワークを大切に、福岡がルーツである事に誇りを感じながら、新しい明日を生きていこうと思います。どうもありがとうございました。

### Bグループ

	<b>ブラジル福岡県人会</b>
	<b>アラカキ ナジア サトミ ナカムラ</b> <b>Arakaki Nadia Satomi Nakamura</b>

今回、県人会担い手育成招へい本事業にリーダーとして参加できた事は、とても新鮮で貴重な体験でした。日本へ行くのは15年ぶりで、福岡へ行くのは初めてでしたので、特に那珂小学校訪問は思い出深いものになりました。教師として、日本の小学校の一日や、生徒達の行動を自分の目で確かめる事が出来たからです。小学生と一緒に一日を過ごして気付いた事は、日本とブラジルの教育は異なっていて、日本の教師は生徒の自主性をより強く育てる事です。初めに教師が活動内容を生徒に説明し、それから生徒達が自分達で活動を進めていきます。必要な時に教師は指導をしていましたが、主に生徒だけで動いていました。給食の時間には、当番の生徒が教師と一緒に給食を取りに行き、給食が配られるまで他の生徒達は静かに待っていました。すごいと思いました。私のグループでは、県人会紹介のさいにパワーポイントを使いました。クイズ形式で行ったため、日本の小学生も楽しみながら参加できたと思います。前年までは、模造紙での発表だったので今回のようにパワーポイントを使用したも良いのではないかなと思いました。今回プログラムに参加して残念だと思った事は、日本語ができない子弟がいたため、参加者達と関係を深める事ができなかったことです。引率者や留学生は通訳をしていましたが、自分で日本語ができれば、ホームステイの方達ともっと交流ができ、このプログラムの大切さをより理解する事ができた事でしょう。

最後になりましたが、この貴重な機会を与えて下さった皆様、関係者の皆様、厚く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



## Bグループ



ベレン福岡県人会

越知 恭子  
Oti Kyoko

この度は、海外福岡県人会の子弟を母県にお招き下さり、またベレン並びにマナウス子弟の引率者としてお招き頂きまして誠にありがとうございました。参加させて頂いたすべての子ども達が健康で無事にそれぞれの国に帰国できましたことに、心から厚くお礼申し上げます。細やかな企画と暖かいお心遣いに感謝申し上げます。

子ども達は日本という国、また、福岡の町や福岡県の伝統文化を実際に自分の目で見て、色々な事を体験させて頂くことができました。小学校を訪問させて頂いたり、他国の子ども達との交流もあり、忘れることのできない楽しい思い出が沢山出来たこととおもっております。また、この事業に参加させて頂いて日本の良き文化、たとえば、時間を守ることや他人に迷惑をかけること、団体行動におけるルールなども学ばせて頂き、子ども達は視野を広げることができると共に、豊かな人間性をも身につけることができ、最高の異文化教育を受けさせて頂くことができたと思っております。そして、子ども達は祖父母の生まれた福岡を訪ね、自分のルーツへの自覚を一步踏み出すこともできたのではないかと確信致しております。私もこの度初めて福岡県を訪問させて頂き、私にとりまして福岡県がとても近くなりました。それに、福岡県がどれほど海外にある県人会のことを大切に思っているのか、また、母県と県人会との絆や海外の県人会の存続活性化をどのぐらい真剣に願って下さっているのかも理解させて頂くことが出来ました。

今後は参加させて頂いた子ども達、並びに引率者がこの事業の主旨を忘れることなく母県との交流を図りながら、母県との絆・県人会活性化のために努力させて頂くことをお誓い申し上げます。将来は福岡県のご子弟や先生方にも、是非海外の福岡県人会を通じて交流の機会をもたれることを願っております。

末筆になりましたが、この事業を推進していただきました福岡県知事様を始め、福岡県議会の皆様方、また、企画から実施に主管としてお骨折りました国際交流センターの方々、また、福岡県家族会の皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

## Cグループ



在ボリビア福岡県人会

徳永 亜由美  
Tokunaga Ayumi

博多祇園山笠、日産自動車九州工場、小倉城、太宰府天満宮見学、全てが素晴らしかったです。たくさんの方たちとの交流を通して、12日間色々な体験をさせて頂きましたが、特に防災センターが印象に残りました。自分の国では、あまり地震がないので、恐ろしさが分かりませんでした。皿倉山ケーブルに乗って見た夜景も素晴らしかったです。宗像市に住む小学生の生徒さん達と流しそうめんをしたり、竹鉄砲を作ったり、言葉遊びのビンゴゲームをしたのも楽しかったです。工夫して作ることの大切さを子ども達も学べたのではないのでしょうか。那珂小学校での一日の交流は、子ども達はとても楽しそうでした。梅ヶ枝餅を作ったり、博多ラーメンを作ったり、楽しい日を過ごさせて頂きました。

福岡県庁をはじめ、国際交流センターや関係者の皆様、本当にありがとうございました。



### Cグループ



コロンビア福岡県人会

坂本 サリ ユキミ  
Sakamoto Sari Yukimi

私は、この度はじめて福岡に行くチャンスを頂き、初めての長旅と引率者として責任を感じ、心配でした。けれども、皆様方の出迎えや、とても親切にお世話を頂いたおかげで、大変良い経験をする事ができました。そして日本文化や私のルーツである日本の習慣を知ることが出来たことは、一生忘れられない思い出になりました。

那珂小学校での生徒達の出迎えのセレモニーなどは、とても規則正しく迫力のある演技でした。お互いに貴重な文化交流をし、とても良い体験をさせて頂きました。

ホームステイでは、日本の習慣や日本食を頂き、私のルーツを知ることが出来、日本人に生まれたことを誇りに思いました。日本語の勉強をして、また日本に行きたいと思います。

福岡県知事様はじめ、国際交流センターの皆様にも厚くお礼を申し上げます。また、このチャンスを頂きましたコロンビア福岡県人会の役員の皆様方にもお礼申し上げます。この事業がいつまでも続きますことをお祈り申し上げます。お世話になった皆様、どうもありがとうございました。

### Dグループ



ペルー福岡クラブ

西村 山本 ケリー  
Nishimura Yamamoto Kelly

たくさんの皆さんのおかげで、今回の忘れられない経験、友情をはぐくむ事ができました。この事業に参加する前に、福岡県について、祖父母からの話や県人会の説明、インターネットの情報から、ある程度は知っていたつもりでした。しかし、実際は想像以上にとても素晴らしいものでした。日本語も、上手になったと思います。事業中は、子弟が日本語を理解できるように、スペイン語に通訳をして、彼らの手伝いをする事が楽しくて好きでした。ホームステイ中も、ホストファミリーとのコミュニケーションをとる際の助けになる事ができて良かったなと思いました。

福岡県の文化や歴史を学ぶ事ができました。例えば、神社や科学館や小学校訪問です。食べ物については、子弟達は特にデザートが気に入ったようでした。子弟達は、毎日楽しく学習をしました。引率も子供に戻ったかのように、太鼓体験をしたり、竹でそうめん流しの準備をしたりと、新しいことをたくさん発見する事ができました。

初日から、国際交流センターの方々には温かいサポートをして下さいました。とても嬉しかったです。留学生もいつも笑顔で手伝ってくれました。何にも耐えがたい友情も得ることが出来ました。ホームステイの間、ホストファミリーは、私達が環境に馴染めるようにリードしてくれました。朝倉の街を歩きましたが、自然がたくさんあり、水田、森林、緑地に囲まれていました。福岡県とリマを比べると、福岡のほうがとても豊かな所だと感じました。また、日本人はとても礼儀正しいです。町を歩くときに、ごみ箱をあまり見かけませんでしたが、ごみは落ちていませんでした。そして、エスカレーターで、左側の人はのんびり立っているのに、右側の人は急いで歩く事は、とても面白く、便利だと思いました。

私は福岡での12日間、世界の大きさを感じました。私の国は、まだたくさん変化をしなければなりません。例えば教育と良いマナーについてです。

最後に、このプログラムに参加することができた事に心から感謝します。そして将来、福岡県へ戻りたいと思います。

## Dグループ

	メキシコ福岡県人会
	谷川 フロレス ホワン カルロス Tanikawa Flores Juan Carlos

まず、今回の経験はとても素晴らしいものでした。他の国からの日系人と寝食をともにしながら、この12日間を国際的な環境で生活しました。そうしていると、「私たちはやっぱり日系人なんだ」と思い知らされました。

プログラム中は、日本語とスペイン語と英語で会話をしました。子弟達のために翻訳と通訳を、本当に楽しんでできました。メキシコからの子弟のタナカ アキラさんとサンタナ マーティン 仁くんは、今回が初めての日本でした。新しいものに出会ったときの彼らのリアクションを見ていると、新鮮でとても幸せな気持ちになりました。

今回のプログラムで一番良かったのは、礼儀や規律について学べた事です。これは当たり前のことだと思いますが、ホームステイ先や小学校、グローバルアリーナでも、参加者の皆が自分とグループのスケジュールをきちんと守って生活をしていました。プログラムが終わるまで、皆がずっと規律を守り続けていたことに一番驚きました。日本文化とメキシコ文化を比較をする事も、とても意味のある事でした。以前、日本を訪れた時からは想像していた以上に福岡の街並みが変わっていたので、びっくりしました。またもう一度日本に行ったときに、どのように変わっているか見るのが楽しみです。

このプログラムに参加させて頂き、本当に心から感謝します。ありがとうございました。

## Eグループ

	バンクーバー福岡県人会
	片山 七 Katayama Nana

本事業への参加は今回が2度目で、前回は長女の引率者として参加させて頂きました。その際にも沢山の方々と出会い、他国の子ども達と知り合い、日本の小学生と私達外国から来た子ども達との違いを感じてみたりなど、多くの違いを学び大きなカルチャーショックを受けたことをよく覚えています。


今回参加して得られた事は、他県人会からの参加者とのネットワークです。引率者の方々のコミュニケーション能力が高く、皆が意思の疎通を図ろうとし、本当にフレンドリーで無理なくまとまる事が出来ました。ちょっとした会話の中から、県人会で起こっている問題点や活動内容、運営状況などの情報交換が出来ました。南米における日本文化の維持・継続の成り立ち方などを聞いて、北米との違いに驚きながらも、今後北米でも同じようにやっていけたらと考えさせられました。同じ福岡をルーツに持つ者の集まりというだけでなく、日本人として、子供たちの日本語・日本文化・慣習などの維持継続を模索することも、今後の私たち福岡県人会の活動内容にするべきなのではとの思いも生まれました。

次に、子どもの「日本への興味」の大切さを改めて実感しました。単に日本に行ってみたくというだけでは、参加しても何にも繋がらないと思います。中身が「外国人」のまま、心から日本や自分のルーツを学ぶ姿勢が生まれない子弟もいるように思えました。どれだけ日本やその文化、ルーツについて情報を得ているかによって、子ども達の意識や姿勢も違ってくるのではと感じました。勿論、子ども達は楽しく過ごし、交流もできていたので、非常に成功度の高い事業だったと思いますが、その根底を探れば、まだまだ子ども達の意識改革の出来る伸びしろのある事業になるのではと考えました。

最後に挙げられるのは、福岡県のこのような取り組みの素晴らしさを再確認したことです。移住の歴史を大切にし、県人会をサポートして下さる県の取り組みは、実行、維持ともに容易な事ではないと思います。私たちはそれに甘えることなく、今後も担い手を育成し、より絆深いバンクーバー福岡県人会を作り上げていかねばならないとの思いを新たに感じ得ました。本当に有り難うございました。



## Eグループ

	サンフランシスコ福岡県人会
	井上 ダグラス Inoue Douglas

今回のプログラムは私にとって生涯に一度の経験になりました。世界各国（カナダ、ハワイ、メキシコ、ブラジル、ペルー、コロンビア、ボリビア、アルゼンチン）に住む福岡にゆかりのある子孫の人達の話や生活を聞いて、とても多くの事を学ぶことができました。プログラムで複数の世代のグループ（10歳～11歳の子供達、県費留学生と引率者）と話ができた事は幸運でした。21歳から70歳以上の引率者からは、それぞれの広い視野を学びました。サンフランシスコ県人会から参加した2人の子弟、ケイネンとケネスが他国の子ども達とすぐに友達になるのを見れたのも良かったです。グローバルアリーナでの滞在では、福岡県は多くの緑や木々に恵まれた美しい地域だという事を知りました。ホームステイ先の親戚からは、私が知らなかった、さらに多くの古い家族の歴史を知りました。それは1930年から1940年にさかのぼり、大牟田市の叔母といとこについて私が抱いていた多くの疑問に答えてくれました。

今回の事業で私が訪れた土地全てで、日本人は日本文化、歴史や伝統を誇りにしている事を感じました。このような福岡の人達との寛大な経験は、とても心温まるものがありました。また、参加者全員にとって、素晴らしい経験となったこのプログラムをご支援頂いた福岡県国際交流センターの皆様と福岡県庁の皆様には、大変感謝致しております。

## Fグループ

	南加福岡県人会
	増田 恩 Masuda Megumu

この度は、大変素晴らしい体験をさせて頂きました。事前に準備がしっかりされていたプログラムの中、沢山の事を体験し、学ぶ事がたくさんありました。この事業の素晴らしさを感じるとともに、今回大変お世話になった全ての皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

まず第一に挙げたいのは、福岡県の素晴らしさを改めて感じる事が出来た事です。博多祇園山笠見学、宗像市小学生との交流プログラム、太宰府天満宮視察、那珂小学校訪問、太鼓や茶道の体験、日産自動車九州工場見学、北九州市見学、福岡県庁、県議会訪問など列挙したらきりがありません。昔から引き継がれている素晴らしい文化や風習、また現在展開されている教育やビジネス事業などを見学し、話を聞くことが出来、学んだことが沢山ありました。その中でも那珂小学校訪問はとても心に残りました。これから国際社会がもっと発展していく中で、このような経験を子どものころから続けることができれば、将来世界で活躍できる日本人が福岡県から沢山出てくる事が出来ると思いました。

第二に、参加者達と沢山話しかけたことがとても良い学びになりました。自分達の県人会の活動、日常生活、仕事、子育てなどを知ることが出来ました。互いに違う国や文化の中で生活しながら、ここ福岡県という繋がりを持ち、経験したことを分かち合い、学び、互いに励まし合う機会が持てました。また、県費留学生が現在日本で体験している出来事、感じている事、将来への目標などを聞くことが出来たのは、とても嬉しいことでした。私自身若い時期にアメリカに留学生として渡り、色々な経験をしたので、彼らの話から自分が通った道を垣間見たように思える事が幾度となくありました。これからこの海外県人会との繋がりをもっと深め、将来の事業に活かしていきたいことを願っています。

最後に今回のプログラムで自分自身の核となるルーツを再度振り返る機会を得て、福岡をもっと良いものとするお手伝いをしたいと感じました。参加した子弟達は、この事業を通して、自分の家族の歴史、文化を再確認し、福岡県との繋がりを大切に、もっともっと福岡県を、又日本を良くしてくれることを期待しています。大変貴重な経験をさせて頂いたことに心から感謝申し上げます。またいつかお会いできる事を期待しています。本当にありがとうございました。

## Fグループ



ハワイ福岡県人会

サリバン 玲子  
Sullivan Reiko

参加前の情報は簡単なもので、何かに期待するようなことは無く、ただ子ども達を引率するだけの役割と思っていました。実際に、福岡に到着して、世界の各県人会の引率者と共に過ごしながら、少しずつ会話の機会を得、その方々の話に引き込まれるようになりました。先祖の苦労や歴史をその方の話を聞くことで、体感することが出来、TVで見聞していたことが、現実として浮き出てきたように感じました。人との出会いは、いつも新鮮で『一期一会』という言葉を大切に思っています。今回の出逢いは、いつもと一味違うものでした。また、今年の引率者は集まるべくして集まったような運命的な出会いを感じています。大変心に残る引率者達でした。福岡の町を想い、祖先を想い、また各国（故郷）で、日本人の心を大切に抱き生きてきた人々のその心を受け継いでいると感銘しました。引率者だけでなく、既に11歳の子ども達にも受け継がれています。

参加して得たことは、そのような人間模様の素晴らしさを間近に感じられたこと、福岡の「家族会」の方々の他県人会子弟への深い思い・思いやりを肌で感じられたこと・存在を知ったこと。又、福岡県が立ち上げた各種プロジェクトのもとに、世界の福岡県人を育成し、協力を提供しているということを知ったことでしょうか。

このプロジェクトに参加したことで、福岡の町の様子だけでなく、いろいろな体験の中で、今までと違う何か（福岡県人として）・世界との結びつきを強く感じています。

皆様のご尽力で素晴らしいプロジェクトが存続していると思います。心より嬉しく思います。有難うございました。

参加者レポート  
福岡県移住者子弟留学生



### Aグループ



ブラジル福岡県人会

行徳 さゆり ミリア  
Guitoko Sayuri Miria

今回の県人会担い手育成招へい事業は、新たな経験が出来、様々な方達に出会い、思い出に残る12日間でした。初めての体験や訪問場所が多かったので、私は子ども達と同じくらい驚いたり、笑ったりしました。事業が始まる前は、どのような子どもが来るのか、どのように行動したら仲良くなれるのかを考えて、少し不安でした。でも子ども達は、私が思っていた以上にとても元気で明るくて、頭の良い子ども達でした。

私にとって、この事業は興味深いものでした。福岡県の知らなかった歴史や場所、国や文化の違い、子ども達の生活、それぞれの国の県人会の活動がどのようになっているのかが、少しわかった気がします。一番印象に残ったのは、一人の子弟が「僕は帰ったら日本語をもっと勉強して、留学生になってまた日本にもどりたい。」と言ったことです。私はとても嬉しく思いました。

私がこの12日間で学んだことは、人間関係です。子ども達、引率者達の指導や関係が12日間どのように変わっていくのかを学ぶことができました。また、引率者一人一人の家族や仕事、経験談を聞いて、とても楽しかったです。参加者はポルトガル語、スペイン語、英語とそれぞれの母国語が違い、言葉の壁で最初は仲良く出来るのか心配でしたが、最後は皆が友達になれて、とても良い思い出を作りました。国際交流センターの皆さんや県人会の皆さんにとっても感謝しています。

### Bグループ



ブラジル福岡県人会


重 エリッキ 和男  
Shigue Erich Kazuo

県人会担い手育成招へい事業は、とても意義深く素晴らしい経験でした。プログラム中は、毎日が忙しく、一日が終わった後、僕はとても疲れていました。しかし、気持ちの良い疲れでした。プログラムの時間は長すぎず、様々な場所へ行くことができ、スケジュールも丁度良いなと思いました。福岡県の名物や、観光地などを知る事もできました。見るだけではなく、体験もありました。ラーメンの麺を作って食べたのは一番楽しかったです。そして、一番面白い経験だったのは、那珂小学校を訪問した事です。日本の小学校とブラジルの小学校は似ている点もありますが、多くが異なっています。ブラジルの小学生は、教室を掃除しません。昼ご飯の時も、自分達で食事の準備をせず、食事当番などありません。日本人にとっては、普通の事です。僕には本当に面白いなと感じました。

この他に、今回のプログラムで大切な思い出となったのは、参加者達と過ごした時間です。子ども達、引率者達、留学生、そして国際交流センターの人達とは、一緒に素晴らしい時間を過ごしました。たくさん友達を作って、たくさんの感動がありました。参加者の皆は、母国語、文化、顔つきなどの違いがたくさんあります。皆のおかげで、様々な事を勉強することができました。

このような経験をさせて頂いたことに、僕は本当に感謝しています。今までで一番最高の経験です！

Cグループ

	<p>在ボリビア福岡県人会</p>
	<p>川波 直美 Kawanami Naomi</p>

今回の事業では、南米と北米から 21 名の子ども達が福岡に来ました。入国したばかりの子ども達は、私たち留学生と同じく、お互いが初対面だったので恥ずかしさと緊張で、あまり会話をすることができませんでした。今日から 12 日間、毎日行事があるのかと考えると、正直きついなと思っていました。でもその考えは間違っていました。きついどころか、子ども達と遊ぶのが楽しくて、賑やかで毎日が過ぎるのがとても早かったです。色々な行事の中で、印象に残った 2 つの行事があります。まず一つ目は、グローバルアリーナでの宗像市の小学生との交流です。子ども達にとっては初めての事ばかりだったと思います。竹鉄砲を作っている時、皆は興味深く真面目な様子でした。国は関係なく、お互い助け合い仲良く竹鉄砲を作り、楽しそうに遊んでいました。二つ目は、那珂小学校でのプレゼンテーションや発表の準備です。自分達の国を知ってもらおうと、必死で頑張っているのが伝わりました。特にボリビアは、日本ではほとんど知られていないので、小学校の子ども達は凄く興味をもってくれました。ボリビアから来ている子どもが、日本語の読み書きができることにも驚いていました。日本語をあまり話せない子もいましたが、言語は関係なく心は通じ合っていました。お互い交流したい気持ちは同じです。

この事業で、泣いたり笑ったり色々ありましたが、沢山の友達を作ることができました。事業は終わってしまいましたが、いい思い出として皆の心の中に残っていくと思います。

Cグループ

	<p>コロンビア福岡県人会</p>
	<p>エルナンデス 黒木 なつみ バネッサ Hernandez Kuroki Natsumi Vanessa</p>

県人会担い手育成招へい事業に参加させていただき、ありがとうございました。とても面白かったです。このプログラムは、福岡で日本文化を勉強するためにきた参加者にとって、忘れられない経験になったと思います。このような経験は、世界中に住む色々な年齢の人達に、日本の現在や、昔からの文化を伝えるために、すごく重要な事です。参加者の子ども達と一緒に過ごしていて面白かったことは、違う国の言葉話す子ども達が、お互いの事をまるで同じ言葉話す仲間のように興味をもち、接しようとしていた事です。それから私達は、福岡の有名な観光地を見に行くことができました。美味しいものも食べられましたし、ラーメン作りや梅ヶ枝餅などの料理をして楽しむ時間もありました。とても良い経験でした。興味深い所にも行きました。例えば、福岡県青少年科学館、日産自動車九州工場、ヤフオク！ドームなどです。とても楽しかったです。

今回経験した全てのことは、日本の文化を世界中に伝えていくことができ、将来につながるものだと思います。特に子ども達にとっては、とても良い経験になったと思います。ありがとうございました。



### Cグループ

	アルゼンチン福岡県人会
	津留 アナ パウラ Tsuru Ana Paula


このプログラムは、参加した子ども達がどこの国から来たかが分かり、日本にもっと関心を持つことができるので参加者にとって興味深いものだと思います。日本文化に触れ、日本について知識を深めることができる大変良い機会だったと思います。私は昨年は引率者として、今年は県費留学生として参加し、有意義な経験となりました。今年の引率者も子ども達も満足しているようで、とても嬉しかったです。

プログラム中は、子ども達が日に日に成長するのを見ることが出来て楽しかったです。最初の日、スタッフや私たち留学生の事を誰も知らないなので、子ども達は緊張していたと思います。なので、県費留学生は皆が仲良くなれるように、サッカーと野球を子ども達と一緒にして、汗をかいて疲れながらも楽しい時間を過ごしました。子ども達は、それぞれが異なる性格を持っているので、常に良い関係が築けるとは限りませんでした。サッカーや野球など色々な遊びをしたり、音楽や様々な話をしていくなかで、お互いの仲を深めていきました。

プログラム中は、様々な活動に参加しました。たとえば博多祇園山笠、宗像市の小学生との一日の交流、太宰府天満宮見学や梅ヶ枝餅作り、那珂小学校で茶道や竹下太鼓も体験しました。これらの活動は、子ども達同士が友達になれる良い機会だったと思います。グローバルアリーナでの生活も、子ども達が素晴らしい思い出を作れたと思います。

私がいずれ自分の子供を育てる時、同じことを経験させてあげたいと思いました。本当に良いプログラムでした。ありがとうございました。

### Dグループ

	ペルー福岡クラブ
	タケシタ クリスティ Takeshita Kristy

7月11日から22日までの12日間、県人会担い手育成招へい事業がありました。私にとって、このプログラムは素晴らしい経験となりました。このプログラムのおかげで、色々な国の福岡県人会の人達と出会い、皆と一緒にたくさんの体験をすることができました。


私は、今回初めて流しそうめんを体験しました。皆と一緒にそうめんを食べるのもとても面白かったです。ヤフオク！ドームに行ったり、小倉城に行ったり、日産自動車九州工場にも行きました。私にとって、一番楽しかったことは、那珂小学校に行った事でした。言葉がよく分からなくても、日本人の子ども達と県人会の子ども達同士は、すぐに仲良くなりました。私達留学生も子どもの頃に戻ったかのように、一緒に遊びました。

とても良い子ども達ばかりで、この一週間で私達留学生は子ども達や引率者と仲良くなり、毎日一緒に楽しく過ごすことが出来て、とても良かったです。あっという間に、日にちが経ちました。皆がもっと長く福岡県に残ってくれたら良かったのにと、今でも思っています。お別れの日は、皆が静かでとても寂しかったです。

このプログラムは、子ども達にとってとても良い経験になったと思います。間近で日本文化や日本の生活や習慣、自分のルーツを見る事ができるからです。きっと子ども達は、たくさんの事を学んだと思います。その他にも私は今回参加した子ども達と接してみて、日本文化を学ぶ事も大切だけれど、思いやりのある人間にならないといけないということを学びました。



#### Dグループ

	メキシコ福岡県人会
	棚町 ヘラルド Tanamachi Gerardo

今回の事業は、とても良い体験でした。僕は県費留学生としてサポートの役割で参加をしましたが、様々な国から来た県人会の人と出会い、活動を共にしていくなかで、得たことがたくさんありました。とても、楽しかったです。参加者の皆とは、良き友達になりました。参加者達と話すことで、移住者や移住者子弟の生活や経験・意見、各県人会の事を知る事ができて、良い勉強にもなりました。プログラムの視察場所では、日本の伝統的なことを色々と学ぶ事ができました。例えば、博多祇園山笠や日産自動車九州工場やラーメン作りです。日頃、僕が行かないような場所へ行く事もできました。参加した子ども達は、この12日間のプログラムを本当に楽しんでいました。故郷も家族も全く異なる国から来た同じ年代の子ども達と一緒に過ごして、学んだことが沢山あると思います。そして、日本文化にさらに興味を持ち、この後、きっと母国と福岡県に関わる事業に携わりたいと思ってくれる事と思います。引率者にとっては大変な12日間だったと思いますが、故郷と福岡県との関係に役に立つような事業に関わる事が出来たうえ、様々な新しい体験が出来て得るものが多かったと思います。今後、海外福岡県人会と福岡県との絆は、更に強くなるだろうなと思いました。

#### Eグループ

	ブラジル福岡県人会
	行徳 政士 ロニー Guitoko Ronni Massashi

「子ども達の可能性」、それが今回の事業に参加して感じた事です。色々な国や文化を持った参加者と過ごした12日間は一生の思い出になると思います。僕は日本に来てから、文化や言葉の壁を超えるのは簡単な事ではないと思っていましたが、子ども達はその壁をすぐに超える事が出来ました。それは子ども達の共同生活や、日本人の子ども達とのふれあいで実感しました。文化や言葉の違いがあっても、子ども達は、その明るさや純粋さで、楽しく一緒に遊びます。その姿にも深く感動しました。性格も違いから、たまには意見のぶつかり合いもありましたが、最後は皆楽しく遊んでいました。

引率の方々との意見交換も、とても楽しかったです。それぞれの母国の生活や文化の話は、とても興味深いものでした。様々な考え方を学び、その長所や短所を自分なりに考える事ができました。

この事業は、短時間で色々な体験が出来て、子弟だけでなく、引率者達そして留学生達も一緒に楽しむ事ができるものだと思います。事業に参加して色々な人と出会い、体験を共にし、多くの事を学びました。子ども達の明るさや、自由な気持ちには本当に心が温まりました。引率者達の、子ども達への想い、子どもの可能性を信じて見守り、そして時には厳しく叱る。この重要な役目があったからこそ、子ども達は大きく成長するのだと思いました。

この素晴らしい企画を立て、サポートをして下さったスタッフの方々のおかげで素晴らしい事業になったのだと思います。この12日間は本当に大変でしたが、本当に楽しい期間でした。この事業に参加できた事を心から感謝しています。この短期間でたくさんの友達が出来き、そして存分に楽しめました。子ども達から色々な事を学べ、本当に感謝しています。いつかまたこのプログラムで知り合った子弟と引率の方々と会えることを、心から楽しみにしています。そしてこのプログラムが、子ども達の将来にどう影響するのか楽しみです。

Fグループ

	ブラジル福岡県人会
	南 美陽 ソフィア Minami Miharua Sophia

平成26年度県人会担い手育成招へい事業に参加する機会を与えて下さった事に感謝しています。この経験のおかげで、私は様々な国の人々と出会うことができました。そして、日本文化だけではなく、色々な国の文化を学んだり、友達を作ったり、たくさんの良い思い出を作る事ができて、とても良かったです。毎日忙しかったけれど、新しいことを覚えて勉強になりました。この事業のおかげで、色々な機会に恵まれました。梅ヶ枝餅焼き体験やラーメン作り、流しそうめんも体験しました。ヤフオク！ドームに行って、ドームツアーに参加できたのも、とても素晴らしかったです。福岡市民防災センターにも行きました。母国ブラジルでは、自然災害がありません。ですから、とても面白かったです。地震や台風や火事はどんな感じなのか、実際に起きた時は何をしたら良いのか覚えておく事は、大切だと思います。

私は南加とハワイのグループのサポートをしました。子ども達も引率者達もとても優しく、日本語と英語の勉強になりました。とても楽しかったです。コナ県人会のジャナちゃんとバンクーバー県人会のこはるちゃんとは毎晩トランプで遊びました。彼女達はとても可愛いかったです。ジャナちゃんはフラダンスがとても上手で、教えてもらいました。フラダンスの各ステップには意味があります。とてもキレイです。もっと覚えたいと思います。

子ども達は言葉が分からなくても、お互いが友達になりたいという気持ちがあつて、ジェスチャーと会話で頑張つて分かり合おうとしていて、感動しました。いつか子ども達と引率者達とまた会いたいと思います。

# 福岡県出身の移住者やその子弟等で 構成される海外の県人会について

## ■福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年（1885年）のハワイ移住により始まり、129年を経過

### (2) 海外移住者総数（自由移民を含まず）

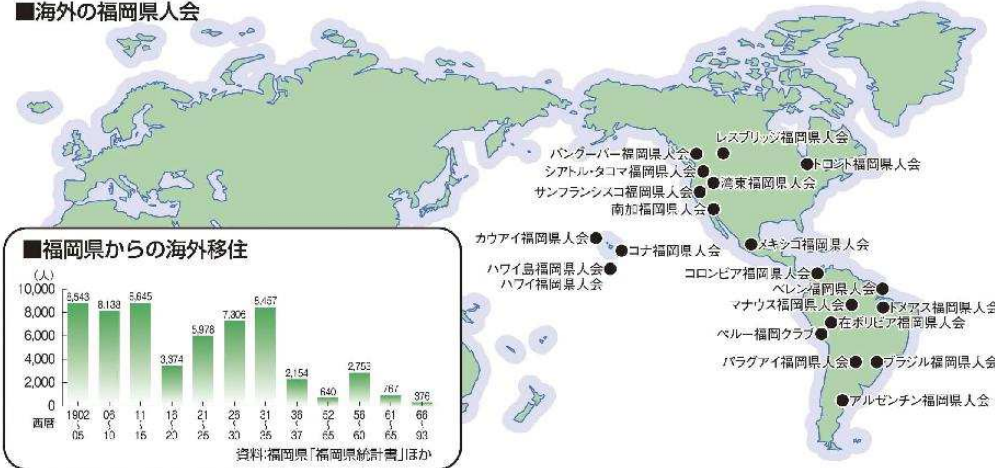
戦前（明治32年から昭和16年） 51,240人（全国比7.8%）

戦後（昭和27年度から平成5年度） 4,536人（全国比6.2%）

※戦前・戦後計 55,776人（全国第4位）

- 第1位 広島 98,975人
- 第2位 沖縄 79,454人
- 第3位 熊本 72,699人
- 第4位 福岡 55,776人
- 第5位 山口 47,430人

## ■海外の福岡県人会



アルゼンチン	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	ハワイ島福岡県人会
ポリビア	在ポリビア福岡県人会	カナダ	バンクーバー福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	カウアイ福岡県人会
ブラジル	ベレン福岡県人会	コロンビア	コロンビア福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	コナ福岡県人会
ブラジル	ブラジル福岡県人会	メキシコ	メキシコ福岡県人会	アメリカ（本土）	南加福岡県人会
ブラジル	マナウス福岡県人会	パラグアイ	パラグアイ福岡県人会	アメリカ（本土）	サンフランシスコ福岡県人会
ブラジル	トメアス福岡県人会	ペルー	ペルー福岡クラブ	アメリカ（本土）	シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ（ハワイ）	ハワイ福岡県人会	アメリカ（本土）	湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会



## 海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

### (目 的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

### (事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

### (会 議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

### (事 業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業（以下「招へい事業」という。）の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

(1) 事業計画と事業予算の決定

(2) 招へいする子弟及び引率者（以下「招へい者」という。）の決定

(3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

### (招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1) 招へい事業の目的を理解していること

(2) 海外福岡県人会会員の子弟であること

(3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること

(4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(5) 心身共に健康であること

(6) 日常の身の回りのことが一人でできること

(7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること

(8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること

(9) 以前に当プログラムに参加したことのない子弟であること

(引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
- (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
- (3) 海外福岡県人会の会員であること
- (4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父(叔父)、伯母(叔母)ではないこと
- (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
- (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること
- (7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

(申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外福岡県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、委員長に提出するものとする。

(招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

(選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

(経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

(事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を公益財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は公益財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

(その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成22年2月8日より施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日より施行する。



**2014.7.11 ~ 22**

**Short Term Visit Program for  
Young Descendants of Immigrants  
from Fukuoka Prefecture**